

第19週の発生動向(2004/5/3~2004/5/9)

- 1 咽頭結膜熱については、先週に引き続き、弘前、むつ保健所管内で**警報**が出されています。
- 2 水痘については、青森保健所管内で**注意報**が出ました。

第19週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		発生の 傾向
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ	1	0.08		0.00	4	0.29		0.00	2	0.22		0.00	7	0.11	
(60) 咽頭結膜熱		0.00	6	0.60		0.00		0.00		0.00	5	1.25	11	0.26	
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0.13	22	2.20	4	0.44	3	0.60	5	0.83	11	2.75	46	1.10	
(62) 感染性胃腸炎	25	3.13	42	4.20	2	0.22		0.00	6	1.00	24	6.00	99	2.36	
(63) 水痘	46	5.75	24	2.40	26	2.89	4	0.80	9	1.50	7	1.75	116	2.76	
(64) 手足口病		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(65) 伝染性紅斑	2	0.25	2	0.20		0.00		0.00		0.00		0.00	4	0.10	
(66) 突発性発疹	1	0.13	8	0.80	4	0.44		0.00	3	0.50	6	1.50	22	0.52	
(67) 百日咳		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(68) 風疹	1	0.13	1	0.10		0.00		0.00		0.00		0.00	2	0.05	
(69) ヘルパンギーナ	1	0.13		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	1	0.02	
(70) 麻疹(成人を除く)		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(71) 流行性耳下腺炎	5	0.63	1	0.10	9	1.00		0.00	1	0.17	3	0.75	19	0.45	
(73) 急性出血性結膜炎		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(74) 流行性角結膜炎	2	1.00		0.00	3	1.50	1	1.00	3	1.50		0.00	9	0.82	

	定点数			
	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

※ インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

発生傾向・「↑」増加傾向、「↓」減少傾向、「→」ほぼ横ばい、「空欄」患者発生数0、■ は注意報、■ は警報

表 以外の感染症法対象疾患 (16年計には、今回届出された件数を含む)

- (82) マイコプラズマ肺炎 (五類定点把握疾患) 八戸保健所管内 2人 (16年計 31人)

感染症の窓

E 型 肝 炎

平成15年11月の感染症法の改正に伴い、四類感染症に追加となった疾患です。

- 病原体** 直径約38nmのエンベロープを持たない小型球形のRNAウイルスです。
- 疫学** これまでの国内での報告例のほとんどは海外における感染例です。しかし、2002年から国内感染例が増加しています。イノシシの生レバーやシカ肉の生食による感染例も報告されています。
- 潜伏期間** A型肝炎(平均4週間)より長く、15日から50日(平均6週間)とされています。
- 感染経路** 主に水系感染であり日本国内では汚染された食品や動物の臓器や肉の生食による経口感染が指摘されています。E型肝炎ウイルスの遺伝子は豚、ラット、シカから検出されており、また、血中抗体も豚、鶏、犬、ラット、牛、羊、山羊、ニホンザル等から検出されています。
- 症状** 臨床症状、経過ともにA型肝炎と類似し発熱、倦怠感などに続いて黄疸、肝腫大、濃色尿、灰白色便などを認めますが、慢性化することはありません。
- 注意** 妊婦が感染すると劇症化しやすく、致死率も高くなるので注意が必要です。